

配布数	回収数	回収率
4	4	100.0%

【放課後等デイサービス】

項目	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			<ul style="list-style-type: none"> 複数の部屋があり、それぞれにスペースがあるので適切だと考えています。 文武両道を目指し、書道室・卓球室・運動室などを確保し、子どもたちが楽しめる環境を整備しています。 高知県立障害者スポーツセンターや公共の体育施設等も利用させていただき、活動に応じて、適切なスペースを確保しています。
	2 職員の配置数は適切であるか	4			<ul style="list-style-type: none"> その日利用されるお子さまの特性や活動内容により、必要な人員配置を常に心がけています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		4		<ul style="list-style-type: none"> 事業所が2階にあるため、ハードはハードでカバーするべく、車いす利用者や視覚障害の方はお手伝いをいたします。 将来的には補助金等を活用し、スロープ等の設置を目指します。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> より良い支援が提供できるよう、スタッフ全員で話し合い取り組みを改善しています。 それぞれの強み（プロフェッショナル）を生かしながら、常に高い意識を持って、日々業務改善に努めます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			<ul style="list-style-type: none"> 令和元年8月に事業所を開設しました。今回が初めてのアンケート調査となります。いただいたご意見を真摯に受け止め、業務改善に活かします。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> ホームページ上で公開いたします。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 同一法人内の他事業所スタッフに意見をもらっています。 評価委員会までの設置は行っていないが、高知県立障害者スポーツセンターなど、利用させていただける施設職員さんから、ヒアリングをさせていただき、自分達の業務改善につなげています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> 必要な研修には、他スタッフに業務上の助けを得、チームの有難さを実感しながら研修へ行かせてもらっています。 スキルアップ研修への参加をしています。 参加した研修内容を報告し、情報共有しています。 県や市、外部団体などの研修に参加。社内研修も不定期で行っています。 常に管理者としての、意識と自覚を持って己を自重しながら、資質向上のための全国会議への出席や、正しい情報収集に日々励んでいます。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> 達成可能な、具体的な計画をたてることを意識しているため、学校の活動や他の放課後等デイサービスの皆さまと連携を図りながら、適切な作成を心がけています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2		<ul style="list-style-type: none"> 標準化されたものはありませんが、効率よく適切に配慮やアセスメントができるよう、日々取り組んでいます。 まだまだ勉強不足な部分が多々あるため、ツールの作成は今後の課題の一つです。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが活動を通じて、楽しみながら様々な経験が積めるような、プログラムをスタッフで話し合っています。 障害特性に応じたプログラムを立案し、その中で子どもたちの自主性やマイルールを面白おかしく具現化できるよう、取り組んでいます。まだまだ力量不足ですが...
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> 季節を感じられ、個々の成長に沿うよう、様々なプログラムを準備しています。 継続が力となるプログラムは固定化させていますが、子どもたちに興味関心を持ってもらえるような創意工夫を常に意識しています。また、学校行事が多い時期で子どもたちが疲れている時なども活動内容を工夫しています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> 休日や長期休暇にしかできないプログラム（夏休み書道教室、冬季集中講座など）を提供するなど、工夫と準備をしています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> 子どもの状況や活動内容に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> 毎日、その日のデイをどう行うか、活動や人員配置、子どもへの支援についてミーティングを行っています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> うまくいった取り組み、改善が必要な取り組みなどを情報共有し、次の支援に向けて共通認識を持って、日々取り組んでいます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			<ul style="list-style-type: none"> 記録の中に意味や意義を含み、次への支援につながる記録がとれるよう、記録シートを個別に作成しています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> 子どもの成長やライフステージ（環境変化）に応じて、その時期に必要な支援ができるよう、児発管を中心に見直しやモニタリングを行っています。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ガイドラインをより深く理解することが必要だと感じています。 ガイドラインはあくまで基本であり、ガイドラインより必要な応用や、障害特性に応じた配慮が必要であると感じています。 	
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		4			<ul style="list-style-type: none"> 児発管を核とし、1名は必ず参加。 その内容を他のスタッフと情報共有を行い、次の支援へ伝えていきます。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、各学校との情報交換や情報共有をしています。 送迎時には必ず、緊急連絡先を記した情報を管理しています。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2		<p>□現時点において、医療ケア児の利用がありませんが、必要な場合には保護者と連絡を取り十分な体制をとれるよう準備します。</p> <p>□必要に応じて、医師の指示及び保護者の方と同意書等を交わしたうえで、ケア体制を整えています。</p>
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4			<p>□新1年生を受け入れる前に、園での様子を見学させていただいたり、必要な情報をヒアリングさせていただいています。</p> <p>□担当者等へ参加させていただき、学校・相談支援員・保護者からの情報を共有しています。</p>
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4			<p>□まだ高校卒業生がいませんが、卒業し福祉サービス事業所等へつながる子がいたら情報提供をし、支援がつながるようにお手伝いをします。</p>
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2		<p>□研修を受けています。</p> <p>□県が養成する【高知県スーパーバイザー】の資格取得職員を1名配置し、各関係機関との密な連携を図りながら、サービス提供に努めています。</p>
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	1		<p>□教室やイベントを利用している子たちや、兄妹児などにもスポットライトを当て、感謝祭や四季のイベントを企画運営しています。</p> <p>□障がいの有無に関わらず参加できるイベントを開催しています。</p>
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		2	2	<p>□今後、つながりを持っていきたいと考えています。</p>
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	4			<p>□送迎時やお電話で直接お話をしたり、連絡帳やメールなど、デイでの様子をお伝えしています。活動内容や良かったこと、また、いつもと違う様子などを伝えるようにしています。</p>
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		4		<p>□現時点において開催には至っておりませんが、ペアトレの指導者講習を受講し、ペアトレの重要性を感じているため、同一法人内の他事業所と連携し、今後の開催を予定しております。</p>
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1		<p>□児発管を中心に、契約時に丁寧な説明を心がけています。</p>
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			<p>□ご相談いただいた場合、迅速に対応支援を行います。</p> <p>なお、当法人スタッフでは十分な対応ができない場合には、必要に応じて各関係機関との連携を図りたいと考えています。</p> <p>□当法人内に2名のソーシャルワーカー(社会福祉士)を配置し、事業所の枠を越えて、保護者の皆さまのお力になれるよう適切な支援を心がけています。</p>
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4		<p>□保護者会の開催には至ってはいませんが、親子で参加できるイベント等を企画し、親御さん同士の情報交換の場を提供できるよう努めています。</p>
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1		<p>□苦情解決の体制は契約時にお伝えしています。苦情をいただいた場合には、迅速に対応し業務改善につなげます。</p>
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	1	1	<p>□今後、情報発信にも力を入れていきます。</p> <p>□1ヵ月ごとの予定表を配布しています。</p> <p>□イベント等はチラシを作成し配布しています。</p> <p>□ホームページのブログにおいて、法人の活動を紹介しています。</p>
	35	個人情報に十分注意しているか	4			<p>□ご利用いただいている方の個人情報は、全て書庫で管理し、取扱いについては細心の注意を払っています。</p>
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			<p>□分かりやすくお伝えできるよう工夫します。</p> <p>□利用いただいているお子さまと、積極的にコミュニケーションを図ったり、その子の好きなものや興味のあるものを勉強し、信頼関係を高めることを心がけています。</p>
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3		1	<p>□1年の最後に、法人主催の大感謝祭を地域で開催しています。</p> <p>また、地域で開催されているお祭りやイベントにも、積極的に参加し、地域の中で障害のある子どもたちが自然に活動できる環境創りに力を入れています。</p> <p>□卓球教室や大会、書道教室などを通じて、地域の人々とも関わることができている。</p>	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	2		<p>□保護者へは周知できておらず、今後の課題として取り組みます。</p> <p>□策定していますが、本調査において周知徹底不足を痛感いたしました。</p> <p>つきましては、迅速にホームページ等に掲載する等、周知徹底に努めてまいります。</p>
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1		<p>□事業所到着後、他施設利用中、送迎中など、様々な場面での被災を想定した、避難訓練を行い、来るべき日に備え冷静に対応できるよう準備しています。</p>
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	2		<p>□今後予定しています。</p> <p>□児童相談所等との連携を現在推進しています。</p>
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	2		<p>□拘束をする場面がありません。</p>
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1		<p>□まだ食物アレルギーを持つ子の利用がありませんが、今後対応が必要な場合には、保護者や主治医の先生の指示のもと対応します。</p>
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1		<p>□ヒヤリハット、インシデント、アクシデント、事故報告書と4つに細かく分類し、状況に応じた報告書を作成しています。作成後は法人内で迅速に情報共有を行い、再発防止に努めています。</p>	